

大雨の時には…

大雨の時は自主的に早めに避難するなど土砂災害には十分注意してください。

次のような時には、要注意！

土砂災害は、雨によって引き起こされることが多いので、雨量や周りの現象に注意しましょう。

このような雨の場合



雨量のめやす

1時間に5～10mmの雨

雨の音がよく聞こえ、あちこちに水たまりができます。

1時間に10～20mmの雨

雨音で会話が聞きとれず、地面一面に水たまりができます。

1時間に20～30mmの雨

どしゃぶりになり、側溝や水路があふれます。

1時間に30mmをこえる雨

バケツをひっくり返したような激しい雨で、視界が不能になります。



気象台が発表する、雨に関する基準

大雨注意報の発表基準

1時間雨量が20mmをこえ、総雨量が50mmをこえる場合

3時間雨量が40mmをこえる場合

24時間雨量が平地で70mmをこえる場合

以上いずれかの条件を満たして、被害が予想される際に大雨注意報が発表されます。



大雨警報の発表基準

1時間雨量が40mmをこえ、総雨量が100mmをこえる場合

3時間雨量が70mmをこえる場合

24時間雨量が平地で北大阪地域:160mm、その他の地域:130mmをこえる場合

以上いずれかの条件を満たして、重大な被害が予想される際には大雨警報が発表されます

このような現象に気づいたら

がけが崩れだしたり、落石があるとき。



がけや地面にひび割れができたとき。



流れが急に濁ったり、流木が混ざりはじめたとき。



がけから水が急に湧き出してきたとき。



木の裂ける音や石の流れ落ちる音がするとき。



降雨が続いているのに溪流の水位が減りだしたとき。



石垣や擁壁にき裂やずれが生じたとき。



地面が急に盛り上がったたり、陥没したとき。

